

**学校経営に係る諸課題解決に向けた  
「提 言」**

令和5年5月

山形県連合小学校長会・山形県中学校長会  
山形県小中合同対策委員会

# 学校経営に係る諸課題解決に向けた「提言」

令和5年5月

山形県連合小学校長会・山形県中学校長会  
山形県小中合同対策委員会

## 1 はじめに

急激に変化する社会情勢の中で、学校は、学習指導要領の実施と令和の日本型学校教育の構築を目指した答申に基づく新たな教育活動の創造、いじめや問題行動への対応、不登校児童生徒の増加、児童生徒の生活習慣にかかわる課題、新しい生活様式の下での教育活動の再構築、さらに、学校に寄せられる多様な意見要望への対応など、様々な課題を抱え続けている状況にあります。

このような中、山形県小・中合同対策委員会では、山形県連合小学校長会、山形県中学校長会の活動方針に基づき、学校が抱える諸課題の解決に向けた教育諸条件の整備に関する教育行政機関への要望活動を毎年展開し、学校教育の充実を図っているところです。さらに、令和2年度より、教育行政機関への要望活動だけに留まることなく、「校長として、今何ができるのか。何をしなければならないのか。」といった校長のあるべき姿を示した「提言」を県内の各小・中学校長会の全会員に発信しております。これは、山形県が目指す教育を力強く推進するためには、学校現場と教育行政機関が両輪として機能する必要性を強く認識しているからに他なりません。

この提言は、2に示す基本的な考え方を踏まえて策定しております。各学校におきましては、今年度も、提言策定の趣旨を共有しながら、学校の実態や校長の考えをもとに様々な迫り方をして、提言の実現をめざしていただきたいと考えております。機会を捉えて情報交換を行い、お互いに高め合っていきましょう。

## 2 「提言」策定の基本的な考え方

- (1) 学習指導要領の理念に基づいた教育の質の向上を図る提言とする。
- (2) 信頼される学校づくりを目指す提言とする。
- (3) 魅力ある教育現場の創造に繋がる提言とする。
- (4) 国の動きや県の動きに注視した提言とする。

## 3 提言と具体的な取組例

### 【提言】

- 1 学習指導要領の理念に基づき「教育の質」の向上に努める。
  - ① ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進・充実
  - ② 必要とされる資質・能力を育むための学校組織力・教員の指導力向上
  - ③ 社会の変化に対応できる「生きる力」の育成
- 2 信頼される学校づくりに努める。
  - ① 安心・安全で元気な学校づくり
  - ② 不祥事の未然防止に向けた学校づくり
- 3 魅力ある教育現場の創造に繋がる学校経営に努める。
  - ① 学校における働き方改革の推進・充実
  - ② 活力あるコミュニティ形成と保護者・地域との連携・協働

＜提言を受けて、各学校が取り組む参考具体例（・）＞

## 1 学習指導要領の理念に基づき「教育の質」の向上に努める。

- ① ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進・充実
  - ・ ICT を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びを通して、確かな学力の育成に努める。
  - ・ 指導と評価の一体化を図りながら、児童生徒の学習改善や指導者の授業改善に努める。
- ② 必要とされる資質・能力を育むための学校組織力・教員の指導力向上
  - ・ 学校経営グランドデザインをもとに、教育目標や経営方針を関係機関と共有しながら、その実現に向けて組織的・計画的に取り組むように努める。
  - ・ 山形県指標に基づく担任力である学習指導力・生徒指導力・特別支援教育力の育成に努める。
- ③ 社会の変化に対応できる「生きる力」の育成
  - ・ グローバル化に向けてコミュニケーション能力を高めるための英語教育の推進に努める。
  - ・ ICT を活用した情報活用能力の育成に努める。
  - ・ 郷土愛をもとに SDGs やカーボンニュートラル等を踏まえた環境教育を推進する。

## 2 信頼される学校づくりに努める。

- ① 安心・安全で元気な学校づくり
  - ・ 安全教育と安全管理における取組や活動の充実を図る。
  - ・ 生徒指導の充実と教育相談体制の強化に努める。
  - ・ いじめ・不登校への対応と未然防止に向けた取組の充実を図る。
- ② 不祥事の未然防止に向けた学校づくり
  - ・ 不祥事の未然防止に向けた校内研修等を通して、教職員個々の服務規律の徹底を図る。
  - ・ 同僚性のある職場環境の構築を図りながら、若手教員の指導力向上や全教職員による信頼される学校づくりに努める。

## 3 魅力ある教育現場の創造に繋がる学校経営に努める。

- ① 学校における働き方改革の推進・充実
  - ・ 「学校における働き方改革の取組み手引き」等をもとに、業務の役割分担や適正化に努める。
  - ・ 働き方改革の取り組みに関するPDCAサイクルの確立を図り、改善に努める。
  - ・ 学校の業務のDX化、ICT活用による効率化に努める。
  - ・ 部活動方針に則った活動を徹底するよう努めるとともに、円滑な部活動の地域移行を推進する。
- ② 活力あるコミュニティ形成と保護者・地域との連携・協働
  - ・ 目指す目標や課題を共有しながら、地域とともにある学校づくりに努める。
  - ・ 地域の教育資源(人材資源、社会環境資源)の有効活用により、学校の教育力を高めながら、働き方改革を推進する。
  - ・ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に努める。

## 4 おわりに

山形県小中合同対策委員会ではこれまで、学校現場の実態・課題の把握、整理、解決・改善策等について話し合いを重ね、中央講師による指導・助言をいただきながら、この「提言」をまとめております。今後、校長先生方を始めとして、たくさんの方々からご意見を頂戴し、さらに具体的で深い内容の「提言」に改善していきます。